

# 第12回熊本県小学生学年別柔道大会に関わる 感染防止ガイドライン

## 1、入場者の条件

- ① 大会当日、会場に入場する監督・コーチ・選手は名簿を大会受付に提出し検温を行ってから入場する。
- ② 大会役員・審判・報道、取材関係者は所属先と氏名を記入し検温を行った後に入場する。
- ③ **保護者の方々の入館は禁止します**

## 2、体調管理

- ① 選手は、大会開催2週間前(3月27日)から検温し健康チェックシートに記入の上、大会本部に提出する。
- ② 役員・審判・補助員・取材者は、大会当日の体温を測定し、健康チェックシートに記入の上、大会本部に提出する。
- ③ 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3～4日続いた日があったり、極度の咳、倦怠感などの症状があった者については大会への参加を見送り、会場への入場を制限する。
- ④ 選手は、大会2週間後(4月24日)まで検温し、健康状態とともにチェックシートに記入する。その間、体調の著しい変化、発熱、嘔吐、倦怠感などの症状が見られた場合は、大会事務局に健康チェックシートの提出とともに速やかに連絡する。
- ⑤ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は大会への参加を見合わせる。

## 3、マスクの着用

- ① すべての入場者はマスクを着用する。マスクを着用しない者の入場は認めない。
- ② 選手は競技中以外はアップ時でもマスクを着用する。
- ③ 大会役員・審判・補助員・取材者は常時マスクを着用する。
- ④ 選手が報道陣の取材を受ける際、写真撮影時に限ってはマスクを外すことを認める。

## 4、社会的距離の確保

- ① 選手は、競技中を除き、他の選手・指導者・審判・補助員等と社会的距離を確保するように努める。
- ② ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませる。
- ③ 選手の更衣は指定場所で行い、会場の更衣スペースの使用は禁止とする。
- ④ 会場外のフロア・休憩スペース・駐車場等での会話は出来るだけ慎む。

## 5、消毒・衛生管理

- ① すべての入場者はこまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行する。
- ② 主催者は、会場入り口や試合会場に消毒液を設置する。
- ③ 試合場は3試合毎に畳の除菌・消毒を行うとともに1階フロア・2階観客席は1時間に1回換気いたします。  
申し訳ありませんが手指消毒液は各道場・クラブでも準備お願いします。
- ④ 水分補給は各自で準備するようにして、コップを共用する回し飲みは行わない。
- ⑤ 使用した机・椅子・掲示板などは、大会終了後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルなどで拭く。
- ⑥ ゴミは各自ですべて持ち帰る。撤収後に館内を確認し、残っていた場合は道場・クラブの監督に戻ってもらい撤去をして頂く。

## 6、その他

- ① すべての入場者はマスクを着用が原則。
- ② 選手は大会出場に関する同意書を監督に提出し、監督が管理する。また監督は証明書を大会本部に提出する。
- ③ 大会前に関係者(選手・指導者・役員)から感染者または濃厚接触者が発生した場合、主催者は大会の継続、中止もしくは該当関係者の参加中止を検討する。

**徹底した感染防止対策を行っていく様に致しますが、その上で感染者が発生した場合は自己責任とさせて頂き、(公社)熊本県柔道整復師会・県柔道協会・少年柔道場連盟は責任は負いませんのでご了承下さい。**